

実践記録

学校/学年	小学校 / 5年	
教科等：単元名	学級活動：気をつけようネットモラル	
キーワード	疑似体験	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	e2：情報を正しく安全に利用することに努める
	中目標項目番号 中目標項目内容	e2-2：個人の情報は、他人にももらさない
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	個人情報の扱い方を疑似体験を通して考えることができる。	
使用教材	教材名	事例で学ぶNetモラル 疑似体験
	製作者	広島県教科用図書販売株式会社
	入手先(URL等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶNetモラル」

展開案

	学習活動	指導 評価
導入	1．モラルポータルの疑似体験のページで、プロフ作りを行う。	・プロジェクターを利用して、指定のページにつなげるようにする。
展開	2．どんな問題が起きたか？どこがいけなかったのかを発表しあう。 3．問題が起きなかった子にどこに気がつけたのかを発表してもらおう。 4．問題が起きないように再挑戦する。	・ページを進めていかせ、起きた問題のどこが困るのかを考えさせる。 ・何を載せるといけないのかを考えさせる。
おわり	5．そのここの事例をアニメーションのページで学習する。	最後にまとめを書かせて、気をつけることをつかめたかを確認する。

授業の成果

- ・情報を気軽に載せると怖いという点がかめた。
- ・様々な事例から具体的にどんなことがおきやすいかを学べた。

指導のポイント・留意点

- ・プロフ作り際には、画面上の人物のつもりで行うように話す。
- ・まとめでしっかり危険なことがつかめたのかをつかむようにする。